

あなたは壊れていない 車を修理に 出しますか？



「学習の秋」。新首相も決まって、これから日本はどうなるのか。この秋の大きな争点「教育基本法」「米軍再編成」「憲法改正の手続き法案」。「おがわ町九条の会」ではこの3点に焦点を当てて、各方面第一線で活躍されている先生をお迎えした「学習講演会」を開催します。(第1回はすでに終了(右ページに報告)しました。)お誘い合わせの上、お気軽にお出かけください。

おがわ町九条の会・リレー講演会のお知らせ

10月

「アメリカの世界戦略と日本の憲法」 —米軍基地再編問題—

講師 山田 朗氏
明治大学文学部教授(日本現代史)
著書「護憲派のための軍事入門」等

10月28日(土曜日)午後2時より
中央公民館2階大会議室 *入場自由、聴講無料*

山田朗氏は1999年から現職。傍ら、教科書全国ネット21代表。歴史教育者協議会副会長。日本現近代史、軍事史、歴史教育論専攻。現在「マガジン9条」(<http://www.magazine9.jp/index0.html>)で「教えて!山田先生~短期集中『軍事講座』」を好評連載中です。また、最近では9月15日「映画人九条の会」による『『蟻の兵隊』(<http://www.arinoheitai.com/>)&池谷薫監督と山田朗さん-ケツヨシ』に出演。「護憲派の軍事入門」(花伝社2005年)が好評発売中。

11月

「憲法改正手続き法は必要か」 —手続き法案の問題点—

講師 福田 徹氏
弁護士・権利問題研究会代表
※隔月で小川町民のための法律相談を開催

11月22日(水曜日)午後6時30分より
リリックおがわ・和室 *入場自由、聴講無料*

福田氏は1931年生まれ。東京大学法学部政治学科卒業後、労働省に入ったが、働く者の権利は働く大衆みずからの闘いによる以外に守りえないと痛感し、大衆と共に歩む道を選んだ。1964年弁護士登録。1972年創立以来、権利問題研究会(<http://park8.wakwak.com/~kenmonken/>)代表。法廷、相談、学習会、著作と多忙な毎日。1977以来毎年「権利白書」を監修・共著。歌集を出版する歌人でもある。

「教育基本法 今こそ生かして」

～鈴木敏則先生を迎えて～

柳田 智

講演は、長崎原爆資料館屋上庭園にある「振袖の少女」や、広島資料館の「黒焦げの弁当箱」から始まりました。戦争がごく当たり前の日常生活を一瞬のうちに奪ってしまう。その反省の上に、60余年前、「戦争をしない国」を目指して憲法が、その憲法の精神を具体化すべく「教育基本法」が制定されたと続きます。

今なぜ改定なのか。今年6月の国会審議の中で政府は、明確な改定理由を説明することは出来なかったということです。昨今の学校の荒れや少年事件、学力の低下などの原因をすべて「教育基本法」に押し付けて改定しようとしていると指摘しました。今回の政府の改正案では、教育の目的を「人格の完成」から「国策に従う人間づくり」に変えて、この目的を達成するためとして、20に及ぶ新たな国定「徳目」—「道徳心」「伝統と文化の尊重」「わが国と郷土を愛する態度」など—が義務付けられています。さらに「教育振興基本計画」を法の中に明記して、教育行政を時の政府の意のままに進められるようにしようという意図がはっきりと打ち出されています。「国のいうまま」の人づくり、そのための「教育の国家統制」です。



一方「教育の機会均等」や「教育費の無償化」「高校全入」など、「教育基本法」制定当時の議事録に照らすと、それらの理想を実現することが政府の責務であったはずなのに、歴代の政府はすべてをサボタージュしてきていると指摘しています。飲み込みの早い子も遅い子もいます。子どもには「未来」があります。全ての子どもに基礎的力をつけるように環境を整備し、子どもの発達を保障することが「国」の役割のはずです。「教育基本法」を「改定」するのではなくて、遵守し、全面的に生かすことこそが、現在の子どもの巡る状況の荒廃を救い、「貧困と格差」を許さず、教育を再生する道である、という訴えがされました。定時制高校の教師でもある鈴木先生の、さまざまな実例を交えての講演は、改めて「教育」とはなにか、「教育基本法」改悪の重大な意味を考えさせてくれました。

「おがわ町九条の会」で手をつなぎましょう

私たちは「日本国憲法」を守り発展させることを目的として、昨年8月に結成された、市民団体です。ノーベル賞作家の大江健三郎さんや、作家の井上ひさしさんたちの呼びかけに応じて、今、全国に5500を越える「九条の会」が同じ目的で活動しています。「憲法9条を守ろう」の一点で手をつなぎましょう。あなたも「おがわ町九条の会」に入りませんか。表記住所まで、手紙、電話、ファクス、Eメールをお送りください。

リレーメッセージ



「聞いて!聞いて!私の声」・・・「おがわ町九条の会」では町のみなさんのいろいろな声を特集してゆきます。「九条へのおもい」「平和への願い」「現状への不平・不満」などなど、みんなに聞いてもらいたいことを、どうか事務局までお届けください(匿名でも結構です)。今回、四人の方々のご協力をいただきました。ありがとうございました。

私の原点

滝沢 英夫 上古寺

九条を守る私の私観です。

健康であったが為に、私の実父は南方の戦地に・・・無事昭和 21 年帰国できたものの、その後 10 年マラリヤで苦しみました。

母方の伯父は 3 人とも戦死と戦病死で。祖母はみずからの命をたちました。

—————戦争の根源をみつめ直す—————

幸せを奪わないで

橋本 千春 小川

私は、二人の小学生の子供の母で主婦です。子供達が石を蹴りながら家に向かって歩いてくるのが見えた時、夫と子供達が重なり合うように寝ている時・・・など、こういうのって幸せだなあと思う事があります。この普通の、小さな幸せを奪わないで下さい。

国会では改憲案が出されていますが、今の九条をなくして、大事な子供や夫を戦場に送り出すなんてことになったら困ります。私は戦場に子供を送り出す為に生んだではありません。私は、改憲には反対です!

あの思いを忘れない

新井 清 腰越

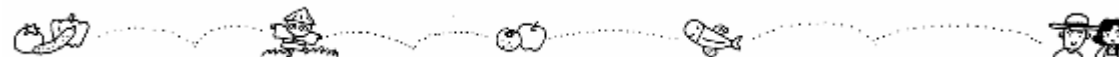
退職して 5 年、教育現場での締め付けが、急激に厳しくなったと聞く。素直には命令に従わぬ、いわゆる「安保世代」が退職したのにあわせるがごとく。(反対すると「刺客」を送られ、従順でなければ生きて行けないのか) 時に、あの「怪物」の孫が「憲法・教育基本法改正」を叫びつつ登場。多くの方は、1960年のあの思いを忘れてしまっていないだろうか。今こそ正念場。力を結集して立ち向かおうではありませんか。

〔編集部注:あの「怪物」の孫=岸信介第56代の首相の孫安倍晋三氏。1960年のあの思い=日米安保条約の改正時、反対闘争が全国的に高揚。連日国会を取り巻くデモ行進等が繰り返された。岸信介氏が首相。〕

平和で豊かな時代を

岡本 守夫 青山

戦後 60 年。実際に戦争を体験した人達も高齢となり、苦しい時代を生き抜きそのことを実際に語れる人も少なくなって来ている。二度と戦争はしないと誓い、憲法に守られて半世紀が過ぎ、ここまで平和で豊かな時代を築くことが出来た。言いたい事が自由に言え、やりたいことが好きに出来る今の時代がどんなに幸せな事か。でも最近、何か色々とおかしな動きになってきている。あの大変な時代を忘れて再びバカな戦争を繰り返すような事だけは絶対に避けなくてはならない。この国の指導者達はいつもその戒めを忘れて欲しくない。



☆お薦めします☆

「憲法学習」のお供に 西田 一雄
ぜひとも活用下さい

井上ひさしの

【子どもにつたえる日本国憲法】 文 井上ひさし 絵 いわさきちひろ

井上ひさしが「憲法の大切さを子供たちに伝えたい」として、いわさきちひろの絵をちりばめて書いた「憲法のこころ」と、「憲法ってつまりこういうこと」の二章からなる「絵本+お話」。付録として憲法全文がつけられています。絵も文章も素晴らしく、是非親も一緒に読みたい本です。子どもに贈りたい一冊です。(講談社 売価 1,000 円)

【新聞は憲法を捨てていいのか】 丸山 重威 著

共同通信の記者を長く勤め同労組委員長、現在関東学院大学法学部教授・日本ジャーナリスト会議・日本民主法律家協会などの会員の著者が「新聞の憲法感覚が問われている」として、「改憲になびく?全国紙・『平和主義守れ』と健闘する地方紙」とマスメディアの現状を伝え・批判し、新聞よ、よみがえれと訴える。「憲法を考える」ではなく「憲法で考える」との言葉は私達にも強く迫るものがあります。(新日本出版社 売価 1,995 円)

【あたらしい憲法のはなし・民主主義】 同名編集委員会 編 小森陽一 前文

「あたらしい憲法のはなし」は昭和 22 年中学 1 年生の、「民主主義」は同 23 年中学・高校の教科書として文部省が作成したもので、前者は 27 年まで、後者は 28 年まで使用されました。後者については今回抄出してあります。

憲法についての解説書としては、これ以上のものはないと思われるほど、わかりやすく、そして憲法制定時の熱気が伝わってくる教科書でした。教科書としては、当時の歴史的状況の中で廃止されてしまいましたが、「改憲」が政治日程に上ってこようとしている今、是非よんでおきたいものです。なお、それぞれの復刻版が別の出版社からも出されています。(展望社 売価 1,500 円)

<資料集> 【日本国憲法の原風景・現風景】 おがわ町九条の会 編

改憲問題を考える基礎資料として、日本国憲法と自民党の改憲案の逐条対比は勿論、憲法制定時の議事録抄、ポツダム宣言・マッカーサー憲法草案・サンフランシスコ平和条約などを収録のほか、自民党改憲案が出されたときの全国 11 の新聞社説を掲載。

とりわけ全国主要紙の社説を収録してあるのは、類書に見ない出色のものです。憲法問題を学習するのに是非お使いください。(問合せ おがわ町九条の会 西田 0493-72-4445)

